

# 日本を滅ぼす “先送りの政治”

～この地域から国政改革～ **民主**  
PRESS MINSHU

## おくの総一郎



### Profile

#### 奥野総一郎 プロフィール

昭和39年7月 神戸市生まれ  
 平成元年3月 東京大学法学部卒業  
 平成元年4月 郵政省入省  
 平成8年1月 横浜市企画局高度情報化推進課長  
 平成9年7月 郵政省大臣官房企画課課長補佐  
 平成13年1月 総務省郵政公社統括官室統括補佐  
 平成16年1月 総務省郵政行政局統括補佐 郵政民営化担当  
 平成17年4月 総務省退職（総務省郵政行政局調査官）  
 平成17年6月 千葉市長選に立候補、84,933票を得るものの惜敗  
 現在 参議院議員 広中和歌子 政策秘書

メールアドレス [sokuno2@yahoo.co.jp](mailto:sokuno2@yahoo.co.jp)  
 携帯電話 090-9974-3299

#### 千葉市でも財政危機が明らかに

3年前、私が千葉市長選挙に挑戦した時、借金が1兆円を超えた市の財政はこのままでは破たんすると警告しましたが、現職の市長は「財政は悪くない」と言っていました。

ところが去年9月になって千葉市は、財政危機であることを認めました。自治体の財政実態を示す新しい指標が導入されたため、千葉市は全国17の政令市の中で2番目に悪いことが明らかになったからです。事実を隠して“先送りの政治”を続けてきたツケです。

こうしたことが日本のあちこちで起きています。

#### 最もひどいのが“国政の先送り”

「消えた年金問題」—分かっていたのに何もしなかった社会保険庁。年金資金を食い物にした保養施設建設で、利益誘導の恩恵を受けた自民党政治も、社保庁をチェックしない政官癒着の“先送り”。人口減少が始まったのに、本気で向き合わない「少子化対策」。結婚・出産への大きな壁になっている「雇用の不安定化」の放置。国の借金が800兆円を超えても、誰も止めない「財政赤字」。世界各地で頻発する異常気象への対応が遅れている「地球温暖化対策」等々、先送りのオンパレードです。

#### 再び警告する

“先送り”が行き詰まれば、行き着く先は経済・財政の破たん、そして更なる少子化・人口減少です。このまま日本は、日本人は、滅びるしかないのでしょうか。

戦後築きあげてきた豊かで活力ある社会を維持するのに、今、必要なのは“先送りはもう許さない”強い決意です。“未来に責任を持つ政治”を一日も早く実現しなければなりません。

### おくの総一郎 日本救済策



1  
借金を減らす  
財政改革

2  
安心して働ける  
労働システム改革

3  
次の世代の  
ための環境政策